

薬剤部だより

No.175

山口大学病院薬剤部

2004.08.18

処方変更時及び時間外処方箋の取り扱いについて

1. 入院定期、臨時処方の変更時(緊急注射も同様)及び時間外処方は、薬剤部へ送付する処方箋とは別に、全て手元に(控え)処方箋が出ます。入院定期・臨時の(控え)については、カルテ用、看護師用のラベルが付いていますので目的に合わせてご利用下さい。注射薬については、カルテ用、看護師用のラベルはありません。
2. (控え)処方箋を出力させることにより、今まで正・副2種類出していた処方箋のうち、副の処方箋(注射薬も同様)は廃止します。
3. 処方の変更をしたときは、処方箋に「修正」と印字されます。時間外処方箋は時間内と同様の形式(正の文字を印字)になります。
4. 薬剤部へは「修正」と印字された正の入院定期・臨時処方箋のみ送って下さい。正の処方箋に付いているラベルは薬剤部で薬袋用に使います。時間外の臨時処方箋も同様です。注射薬については、正の緊急処方箋とバーコード付きラベル(ラベルプリンタより出力)を送って下さい。
5. 調剤終了後、入院定期、臨時処方箋については、薬剤のみ送りますので、(控え)とよく照合して下さい。注射薬については、薬剤と一緒に正の緊急処方箋とバーコードラベルを病棟に送ります。
6. 正の緊急処方箋は注射薬実施後、速やかに薬剤部へ返却してください。薬剤部にて保管します。

入院患者さんの抗癌剤混注依頼について

薬剤部に入院患者さんの抗癌剤混注を依頼する際には、混注作業上、実施予定時刻の約1時間前に確認入力を行います。確認入力後はオーダ修正ができませんので、変更が生じた場合は必ず薬剤部製剤室(内線 2666)まで速やかにご連絡下さい。

また、患者さんの状態などにより、混注を待つて欲しい場合は、あらかじめその旨をフリーコメントで入力、もしくは電話連絡をお願いします。

なお混注を依頼される際には、必ず正確な実施予定時刻の入力をお願いいたします。

使用済みの注射薬は返却しないで下さい

薬剤部へ返却される注射薬の中に、開封されたものが混ざっていることがあります。一旦開封されたもの(例: 生食ブラ 500 mL (開栓型)を開栓後リキャップしたもの)は使用の有無が分かりにくい等、リスクマネージメントの観点からも好ましくありませんので、返却しないで下さい。

未使用の場合は、輸液ボトルなどに貼ったラベルを剥がし、記入された文字を消してから返却して下さい。

処方オーダー時に『自動分包』、『粉碎化』、『薬品説明文書提供』等のコメントをお忘れなく！

内服薬交付後に病棟から「自動分包にして下さい」や「粉碎化して下さい」等の依頼を受けることが多く、対応に苦慮しております。新規システムでは、医師しかオーダー修正(コメント追加)ができませんので、オーダー時に必要とするコメントを漏れなく入れて下さい。これらのコメントを後から追加すれば、二重三重の作業を強いられることとなりますので、効率的に業務を行うためにも、処方オーダー時には必ずご確認下さい。

また、薬剤師が服薬指導を行っている診療科では、定期処方に『(副作用を除いた)薬品説明文書提供』のコメントを忘れず入力して下さい。

ウルソサン錠50 mg、ウルソ100、ウルソ顆粒の名称が変わります

ウルソサン錠 50mg、ウルソ 100、ウルソ顆粒の販売名が、それぞれ下記の通り変更となります。

<u>ウルソサン錠 50 mg</u>	<u>ウルソ錠 50 mg</u>
ウルソ 100	ウルソ錠 100mg
ウルソ顆粒	ウルソ顆粒 5%

ファンガード注の遮光は不要になりました

ファンガード注点滴中は遮光袋を使用していましたが、安定性に問題がないため不要になりました。

プレマリン錠はオーダー処方可能になりました

先月の薬剤部だより 174号でお知らせしましたとおり、プレマリン錠は常備薬から削除となりましたが、使用される患者さんが多いため再度オーダー処方可能となりました。

残暑お見舞い申し上げます

薬剤部一同